



ココロ・ハカル・ハレル

心の健康を維持するために

年々ストレスによる健康被害は増加の傾向にあり、さらにコロナ禍によって新たなストレスにも向き合わなければならない時代となりました。

厚生労働省では平成27年より『ストレスチェック』が導入され、多くの企業が『健康経営』の考えから、ストレスチェックを積極的に行うようになりました。

しかし、その内容に関しては様々な課題があります。リモートワークの導入で対面によるコミュニケーションが減少し、外見からの変化に気づくことが難しくなっている今、オンラインでのメンタルケアはますます必要不可欠になっています。

年に1度のストレスチェックだけでなく、日常的にメンタル測定を行う事で、今のストレス状態を把握し、そのストレスに対処できるスキルを身につけ『こころの健康』を維持していくことが私たちの使命だと思っています。

代表
吉田大輔

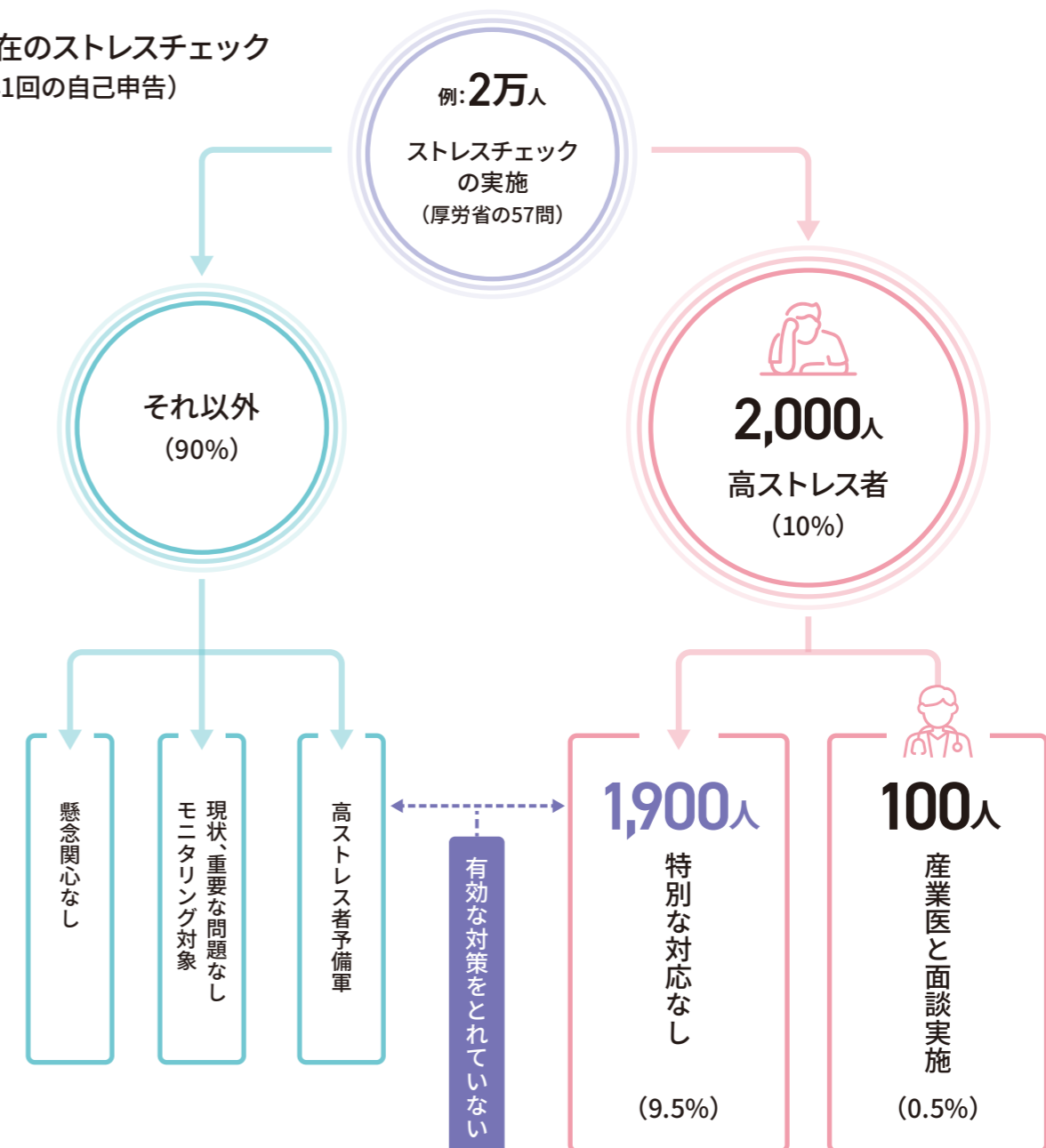
なぜマインドスケールが必要か？

法令で義務化されている年1回の自己申告式によるストレスチェックだけでは根本的なストレス対策になっていないのが現状です。

一般的なストレスチェックでは、全体の約1割程度の高ストレス者を炙り出すことに重点がおかれ、対策としては面談やアドバイスによって欠勤を防ぐというもので、健康な状態に戻すためのケアには有効な対策をとれていません。

マインドスケールは、複数のバイタルデータから高度なストレス分析と改善方法に導くカウンセリングをご提供。高ストレス者の早期発見と、見守り、さらに改善サポートまでを実現する初めてのメンタルケアです。

現在のストレスチェック (年1回の自己申告)



マインドスケールのご紹介

マインドスケールはYume Cloud社が提供するオンラインによるストレスケアのサービスです。通常のストレス測定とは異なり、自己申告だけではなく、バイタルデータ(脈波、表情、声)との関連性から、ストレスの状態を科学的に分析。さらに、専門カウンセラーによるカウンセリング(プライベートセッション)を行い、ストレスに対処するスキルが身につくまでサポート。その効果をモニタリングすることで、「こころの健康」を維持するためのメンタルヘルスケアを実現する、今までにない新しいプログラムです。

ココロ・ハカル・ハレル ストレスを見える化して、改善サポート。



アメリカ・シリコンバレーでの研究開発と日本の学術知見を合わせた高技術測定。

監修スタッフ



開発アドバイザー
横山 道央
山形大学大学院
理工学研究科准教授

半導体集積回路工学、センサネットワークシステム、生体信号処理とAIビックデータ解析に関する研究に従事
電気学会、電子情報通信学会、応用物理学会、エレクトロニクス実装学会各会員



開発アドバイザー
原田 知親
山形大学大学院
理工学研究科助教授

MEMS技術と集積回路技術を融合したセンサの研究と極低電圧駆動集積回路の開発、人・物の行動の可視化に向けたIoT/ICTシステムの研究に従事
電気学会、電子情報通信学会、IEEE各会員



心理アドバイザー
佐藤 宏平
山形大学
地域教育文化学部教授

臨床心理学、家族心理領域の研究、うつや不登校のメカニズムや介入、家族療法、グループセラピーに関する研究に従事
公認心理士、臨床心理士 日本心理臨床学会、日本カウンセリング学会、日本家族心理学会、日本家族療法学会、日本認知・行動療法学会、ほか

マインドスケールの測定

独自に開発した測定技術によってストレスを可視化。

Yume Cloudが独自に開発した技術により、様々な生体データ測定(脈波=自律神経、朗読=脳疲労度、表情=気分)と自覚によって現在のストレスを可視化。ストレスの見える化によって自分では自覚のない今のストレスに気づきを与えます。



脈波を測定することで、自律神経の調子を測定



提示されたテキストを朗読し、脳の疲労度を測定



AIが表情を読み取り、気分を測定します。



問診により、自覚症状を測定

マインドスケールのサービス

ストレスを自分でマネジメントできるスキルが身につくまでサポート。

測定だけでなく、今のストレスの状態に合わせた対処法をアドバイス。ストレスを自分でマネジメントできるスキルが身につくまでサポートいたします。



サービス ①

専門カウンセラーによるプライベートセッション

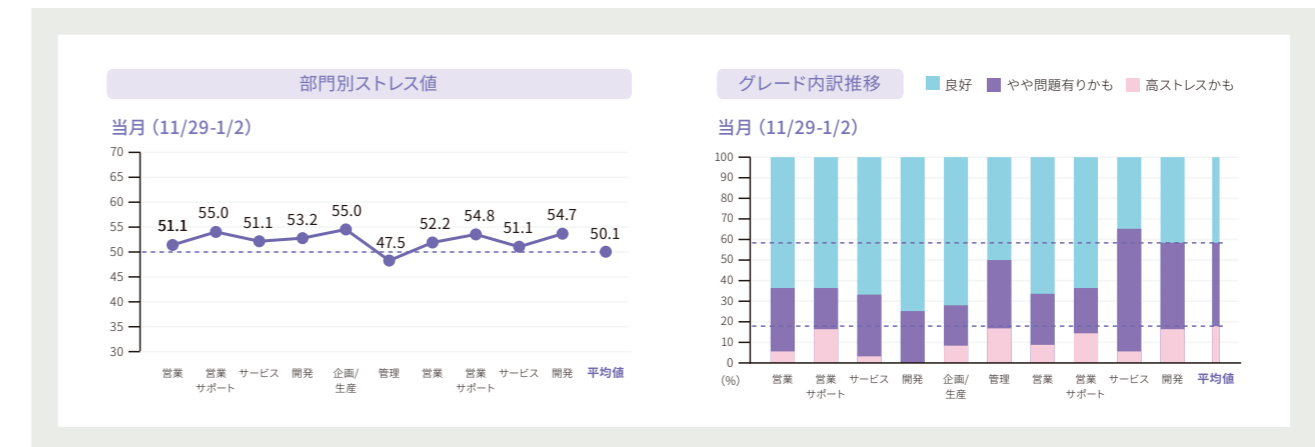
マインドスケールでは科学的なデータ測定だけでなく、臨床心理士、公認心理士、などの専門の資格を持ったカウンセラーによるオンラインでのプライベートセッション(カウンセリング)を行なっています。お一人お一人の状態を見ながら、ストレスと向き合う秘訣や、具体的な対処法などのアドバイスを行い、ストレスに自分で対処できるスキルが身につくまでサポートします。予約はアプリから簡単にできて、空いた時間に気軽にできるのが魅力です。



サービス ②

測定結果を分析して、レポートをご提出

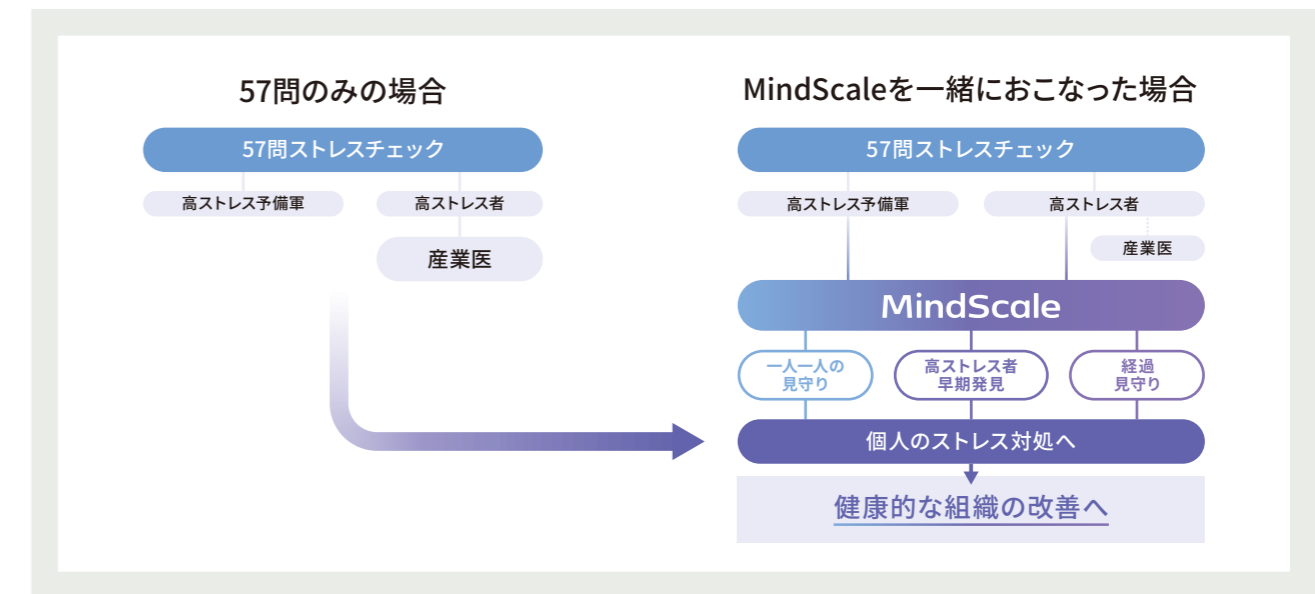
企業様には社員様のデータを分析した『分析レポート』をご提示。ストレスの状態を部署別、職種別など詳細に分析したレポートで、他社との比較なども参考にしながら、健康的な職場の改善化にお役立ていただいております。



サービス ③

57問ストレスチェックも一緒にご提供できます

ご希望の企業様には厚労省のストレスチェックとご一緒に、ストレスチェックもご提供することができます。併せてお使い頂く事で、高ストレス者の早期発見だけでなく、その後の見守りやメンタルケアを継続して行うことができます。



※サービスは全てオプション価格で別途料金メニューになります。

ご利用例 ①

『メンタル改善ヘルスツーリズム』

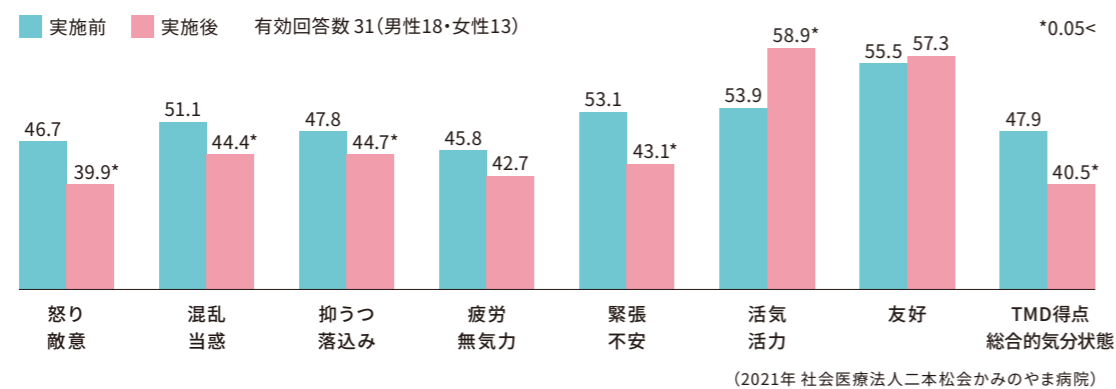
山形県上山市が、2020年メンタルヘルス改善ツアーを実施。その効果エビデンスを展開し、企業向けのPRパンフレットに採用して観光集客に役立てています。

1泊2日の滞在期間でメンタルヘルスが有意に改善

蔵王高原牧場での1泊2日モニターツアー 参加者31名対称(県内・隣県企業)

① 気分状態が改善(主観的調査)

POMS2(Profile of Mood Status 2)気分プロフィール検査
ツアー実施前後の比較T得点



② ストレスが軽減し、リラックス傾向に(外観的調査)

マインドスケール各種指標の活動前後比較

*LF(交感神経)/HF(副交感神経)による自律神経のバランス

指標	算出方法	測定	平均値	傾向
LF/HF* (ストレス) n=27	0~100点	実施前	47.77	緊張・ストレスが低下
		実施後	47.03	
CEM値 (脳覚醒) n=16	0~1000点	実施前	430.63	リフレッシュし、 覚醒度が高まった
		実施後	470.84	
表情 (感情) n=20	0~100点	実施前	54.78	感情はリラックス、 自然な傾向に
		実施後	49.64	

マインドスケール(問診・脈波・音声・表情に関するデータの収集・結合)による分析結果(2021年 Yume Cloud Japan.)

ご利用例 ②

『ストレスチェックと高ストレス者見守り』

ITメーカーが全社員に57問ストレスチェックを行い、高ストレス者となった方にマインドスケールをお使いいただいた結果、改善が見られました。

57問ストレスチェック実施者で高ストレスとされた社員のうち5名がマインドスケールを使用した結果、4名が改善傾向、1名がやや改善傾向。

※数値が高い方が良い

	全ユーザー 平均値	A氏(継続中)		B氏(継続中)		C氏(継続中)		D氏(終了)		E氏(終了)	
		開始時	終了時	開始時	終了時	開始時	終了時	開始時	終了時	開始時	終了時
脈波	50	38	49	29	42	48	57	38	33	27	38
自覚	61	40	56	56	61	28	28	64	67	39	53
朗読	49	38	55	36	49	59	47	59	57	40	46
マインドスケール値	51	42	54	34	47	47	48	41	46	20	49

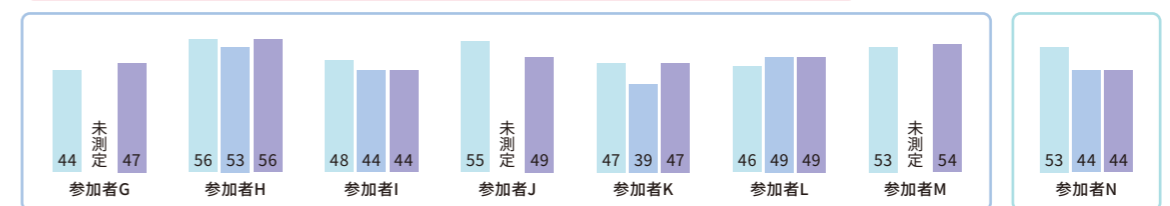
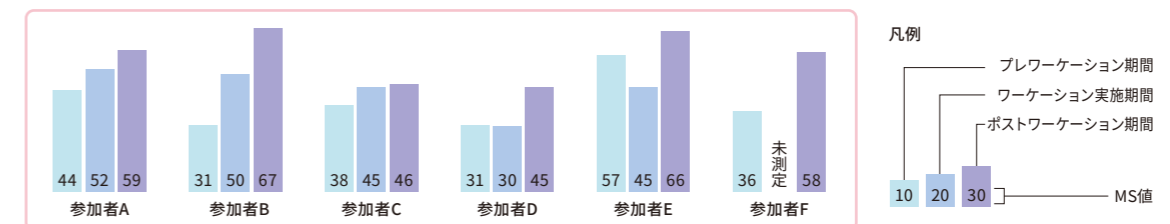
ご利用例 ③

『健康ワーケーションモニターツアー』

ワーケーションの企画運営を企画している企業が、地方でのワーケーションモニターツアーを実施し、その効果測定のためにお使いいただいた結果、メンタルへの効果も見られ、参加者の『ストレス改善』もプログラムに取り入れる検討をされました。

期間:プレワーケーション期間・ワーケーション実施期間・ポストワーケーション期間の18日間、毎朝測定

大幅な改善傾向あり



あまり変化なし

低下傾向

導入の理由

企業

従業員のメンタルの見守り	高ストレス者の経過観測
離職率を減らしたい	職場環境を良くしたい
仕事の効率を上げたい	危険な現場での作業員の事故を防ぎたい
運転事故を防ぎたい	職場の環境改善がしたい
テレワーク者の身体状態見守り	

ヘルスケア・健康サービス

フィットネス効果を見える化したい	ヘルスツールの効果を具体的に示したい
介護の現場でのストレスケアに活かしたい	スポーツチームの成績を向上させたい
試合前の選手のメンタルケア状態を知りたい	健康事業に役立てたい

自治体／教育

ワーケーション・ツアーの効果測定	教員・職員のメンタル見守り
受験前の生徒のメンタル見守り	いじめ防止対策

ご利用者の声

医療ソフト開発会社 社長

カウンセリングを受けるのは初めてだったのですが、人に悩みや愚痴を話すだけでこんなに気持ちがスッキリすることに驚いています。守秘義務を負った専門のカウンセラーなら安心して相談できますので、このようなヒューマンなサービスがあることにとても助かっています。

大手企業総務部 人事担当

リモートワーク時の把握しづらい社員の身体状態が分かるので利用しています。レポートの解析結果から、組織ごとにどんな事がメンタルに影響をしているのか把握する事が出来ています。また会社全体のスコアが上昇傾向になると、モチベーションも自然に上がります。

プロサッカーリーグ 管理職

オーバートレーニング症候群によって、メンタル面で壊れてしまう事は深刻な問題なので、日頃からメンタルのモニタリングをする事で、選手の見守りを行う事が我々の役目です。また試合の前のメンタル測定などに役立っています。

企業情報

会社名	株式会社 Yume Cloud Japan
所在地	東京事務所 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-8-1 茅場町一丁目平和ビル8F FinGATE KAYABA 本社 〒992-0038 山形県米沢市城南4-3-16 山形大学国際事業化研究センター内1階 シリコンバレーオフィス 1650 Zanker Road, Suite 125 San Jose, CA 95112,USA
設立日	2019年1月31日
事業内容	○ストレス改善サポートアプリ「マインドスケール」の開発と販売 ○メンタルサポートに関するコンサルティング・サービスの提供 ○IoT製品の開発と販売
資本金	74,972,500円(2023年1月1日現在)
役員構成	代表取締役 吉田大輔 取締役 増田一之 取締役 佐藤廣志
会社沿革	2000年 米国シリコンバレーに転居し富士通の数多くの新規ビジネスを開拓 2014年 Yume Cloud Incを設立 2015年 独自開発IoTモジュール「GLOW」のプロトタイプ完成 2016年 米国大手のクラウドファンディングサイト Kickstarter等にてIoTモジュール販売開始 2017年 富士通アクセラレータプログラムにて、パートナー企業認可 2018年 CES(米国ラスベガス)にてIoTグラスを出展 2019年 山形大学の誘致により、株式会社Yume Cloud Japanを設立 戦略的基盤技術高度化支援事業に産学開発事業の「感情表現エンジン」が採択される 2020年 「感情表現エンジン」を利用したオンラインによるストレス可視化サービス「マインドスケール」の実証試験開始(山形県上山市など) 2021年 大手企業数社にて「マインドスケール」のテスト導入開始 2022年 Yume Cloud Incより株式会社Yume Cloud Japanにビジネスを移管 大手企業数社にてマインドスケールの全社導入開始

お問い合わせ先

メールアドレス : info@yume-cloud.co.jp

電話番号 : 050-3176-1217

お問い合わせフォーム : <https://www.yume-cloud.co.jp/inquiry/>

